

パパへ

今井英津子

愛媛県・二九・看護婦

ありがとう。本当にありがとう。何から、言い出せばいいかわからない程、いっぱいあふれてくる。

つわりがひどくて毎日二四時間、言いたい放題わがまま言った。切迫早産で入院。

ベッド上安静というつらい毎日に、三〇分かけて好きな物持つてきてくれるパパに

「帰りたい、連れて帰って」と泣き散らしどなった。

だけど、パパは一度も怒らないで全部飲み込み手をにぎってくれた。病院のベッドの上で夜中、陣痛が始まった。朝まで布団をにぎりしめ耐えた。朝早くからパパを起こしてはかわいそうと耐えたけど、結局起こしちゃってごめんね。

すぐ飛んで来てくれて、腰を押してくれたり手をにぎってくれてありがとう。パパの手が痛そうに赤くなっていたの知ってたよ。だけどパパは何時間も少しも休まなかった。本当にありがとう。自然分娩で双子。二回訪れる陣痛。つらかった。苦しかった。

た。けど、生まれた直後、パパが子供を抱いている姿が見えた時、パパの笑顔は最高の優しい目をした。生んでよかったって本当に心の底から思えたよ。

パパが、私の手をにぎってくれ、目には涙を浮かべ「ありがとう、よくがんばったぞ」ってkissしてくれて、パパの涙が私の顔に落ちてきた時、苦しかった事全て忘れられた。本当に今、パパと一緒にいて、パパの子供が一度に二人も生まれて、パパが大切に想ってくれてる事が、本当に、本当に幸せだなんて感じる。

つわりのつらい時が始まってから今日まで本当にありがとう。パパとの大切な二人の子供をさずけてくれてありがとう。手紙ありがとう。私の一生の宝物だよ。私のそばにいてくれてありがとう。言いつくせない程、今幸せです。

大切なパパへ、ありがとう。